

通番	検討する事項	取組内容	2023 (R5) 実施目標	2023 (R5) 達成基準
1.図書館の基本的なサービス---				
1--ア-①	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。	継続実施	・図書、雑誌、AV、電子書籍、DBの選定を行い、過不足なく予算執行する。 ※DBの詳細は、第4章3. (2) 【ビジネス支援】 (3) 【法情報】に記載 ・電子書籍の収集方針案を作成する。
1--ア-②		蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。	継続実施	・各サービスグループにおいて、継続して見直しを検討する。
1--ア-③		視聴覚資料の積極的な収集に努めます。	継続実施	・AV資料の購入について適切に予算執行する。
1--ア-④		展示等により、資料紹介を行います。	継続実施	・展示を行う（本館：一般、児童展示各6回以上、公津の杜分館：一般、児童展示各8回以上）
1--イ-①	貸出・レファレンス等のサービス提供	貸出・閲覧サービスを継続して実施します。	継続実施	・貸出・閲覧サービスを継続実施する。
1--イ-②		レファレンスサービスを継続して実施します。	継続実施	・レファレンスサービスを継続実施する。
1--ウ-①	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。	継続実施	・広報なりに、図書館講座、おはなし会の広報及び読書週間に合わせ図書館利用促進特集を掲載する。 ・電子書籍の利用促進のPRを行う。
1--エ-①	データベース提供の拡充	公津の杜分館でのデータベースの提供を進めます。	詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス (2) ビジネス支援 (3) 法情報に記載	
2.利用者層ごとのサービス- (1) 乳幼児・保護者--				
2-(1)-ア-①	おはなしかい	今後も実施を継続します。	継続実施	・おはなしかいを継続実施する。 年間予定：0.1歳のおはなしかい（月1回）、2.3歳のおはなしかい（隔月）、杜のおはなしかい（隔週）、季節のおはなしかい（3回）
2-(1)-ア-②		回数、曜日、時間等について、必要に応じて検討します。	回数、曜日、時間等の変更について試行する。	・定例のおはなし会について、期間を設け、回数、曜日、時間等を変更して試行する。
2-(1)-イ-①	ブックリスト配布	今後も配布を継続します。	継続実施	・ブックリスト「あかちゃんも絵本が大好き」「絵本が大好き - 2、3歳 -」「絵本が大好き - 4、5歳 -」の配布を継続実施する。
2-(1)-イ-②		配布場所については追加を検討します。		
2-(1)-イ-③		内容については適宜見直し、改訂を行います。	内容について見直し、改定を行う(1/2)。	・「赤ちゃんも絵本がだいすき」の内容を見直し、案を作成する。
2-(1)-ウ-①	ブックスタート事業	絵本の配布を検討します。	実施	・絵本の配布を実施する。
2-(1)-ウ-②		赤ちゃん相談絵本読み聞かせ事業を継続し、運営主体や方法について、検討します。	継続実施	・4か月児赤ちゃん相談の会場において、毎月1回ブックスタート事業を継続実施する。
2-(1)-エ-①	セカンドブック	実施に向けて検討します。	運営主体や方法について検討する。 先進図書館の調査、関係機関との調整を行い実施を検討する。	・前年度に引き続き、先進図書館の調査を行い、12月までに報告書をまとめる。
2-(1)-オ-①	館内託児サービス	実施に向けて検討します。		

通番	検討する事項	取組内容	2023 (R5) 実施目標	2023 (R5) 達成基準
2-(1)-カ-①	子育て支援コーナー等の設置	「出産」「育児」「家計」等、子育てに関わる資料の児童コーナー隣接を検討します。	利用者の利便性を高める取り組みについて検討する。	・10月までに事例や実施方法について調査し、取組の可否を協議する。 ・可能な取組については、実施に向けて検討し、具体的な計画を立てる。
2-(1)-カ-②		国や市の制度、相談窓口、関係各課のリーフレットやイベントの案内等を集約した情報提供の実施を検討します。	利用者の利便性を高める取り組みについて検討する。	・10月までに事例や実施方法について調査し、取組の可否を協議する。 ・可能な取組については、実施に向けて検討し、具体的な計画を立てる。
2-(1)-キ-①	幼稚園、保育園等への団体貸出	申し出のあった市内幼稚園、保育園への団体貸出の実施を継続します。	継続実施 運用規定の課題を整理する。(2/2)	・団体貸出を継続実施する。 ・現在の運用規定について課題を整理し、12月までに報告書をまとめる。
2-(1)-キ-②		今後は、申込書の送付等、図書館からの働きかけを検討し、園等での読書活動を支援します。	市内の園等での読書活動の実態調査を行う。(1/2)	・市内の園等に送付するアンケートの素案を12月までに完成させる。
2-(1)-ク-①	乳幼児向け閲覧スペースの設置	転んだり、ぶつかったりしても怪我をしない床材や建具等の導入を検討します。		
2-(1)-ケ-①	施設・設備のバリアフリー化	ベビーカーで来館できる駐車場の整備等、施設のバリアフリー化を図ります。	利用者の利便性を高める取り組みについて検討する。	・10月までに事例や実施方法について調査し、取組の可否を協議する。 ・可能な取組については、実施に向けて検討し、具体的な計画を立てる。
2-(1)-コ-①	授乳室等の設置	専用スペースの設置に向けて検討します。	利用者の利便性を高める取り組みについて検討する。	・10月までに事例や実施方法について調査し、取組の可否を協議する。 ・可能な取組については、実施に向けて検討し、具体的な計画を立てる。
2.利用者層ごとのサービス- (2) 小学生・中学生--				
2-(2)-ア-①	ブックリスト配布	今後も全校への実施を継続します。	継続実施	・ブックリスト「ばんざいいちねんせい」「いいほんみつけた1,2ねんせい」「いいほんみつけた3,4年生」「いいほんみつけた5,6年生」「いいほんみつけた中学生」の配布を継続実施する。 配布先：小学校19校、中学校8校、義務教育学校2校
2-(2)-イ-①	中学生向け書架整備	今後も実施を継続します。	「いい本みつけた！中学生」書架(じどうYA)について、利用状況を調査する。(2/2)	・「いいほんみつけた！中学生」書架(じどうYA)について、利用状況の調査を行い、12月までに報告書をまとめる。
2-(2)-ウ-①	資料展示	今後も実施を継続します。 展示テーマの頻度については検討します。	継続実施 展示テーマの頻度については検討する。	・常設展示6回以上と季節や行事に応じた展示を継続実施する。 ・展示テーマの頻度について検討し、12月までに報告書をまとめる。
2-(2)-エ-①	おはなしかい	今後も実施を継続します。	継続実施	・土曜日のおはなしかい、季節のおはなしかい等を継続実施する。 年間予定：土曜日のおはなしかい(週1回)、杜のおはなしかい(隔週)、季節のおはなしかい(3回)
2-(2)-エ-②		子どもたちの参加意欲促進に努めます。		
2-(2)-オ-①	イベント、講座	今後も実施を継続します。	継続実施	・科学あそび講座等の児童向け講座を継続実施する。
2-(2)-オ-②		中学生向けの図書館講座について、調査研究を行い、実施を検討します。	中学生向け講座の事例研究を行う。(2/2)	・事例の追加調査を行う。 ・12月までに、中学生向け講座について検討しリスト化する。

通番	検討する事項	取組内容	2023 (R5) 実施目標	2023 (R5) 達成基準
2-(2)-カ-①	学校訪問おはなし会	今後もボランティアと協力し実施を継続します。	継続実施 職員及びボランティアの研修（読み聞かせ・素話）を実施する。	・学校訪問おはなし会を継続実施する。 ・事業を行う職員及びボランティアのスキルアップのため、研修を実施する。
2-(2)-カ-②		回数や実施方法について検討します。	事例の調査研究を行う (3/3)	・先進図書館の事例について調査し、12月までに報告を行う。
2-(2)-キ-①	読み聞かせボランティアの養成	今後も実施を継続します。	継続実施	・読み聞かせを行っている市民を対象とした「絵本の読み聞かせ講座」を実施し、ボランティアの養成を行う。
2-(2)-ク-①	町探検の受入れ	今後も実施を継続します。	継続実施 配布資料を改訂する。 町探検時の説明事項等についてマニュアルを作成する。	・町探検の受入れを継続実施する。 ・町探検配布資料「なりたしりつとしょかんどあんない」を改訂する。 ・12月までに、町探検の説明事項のマニュアルを作成する。
2-(2)-ケ-①	職場体験の受入れ	今後も実施を継続します。	継続実施 職場体験の説明事項等についてマニュアルを作成する。	・職場体験の受入れを継続実施する。 ・12月までに、職場体験の説明事項のマニュアルを作成する。
2-(2)-コ-①	読書に困難を感じている子どもの支援	ニーズやサービス内容について、調査研究を行います。 サービス方針及び資料収集方針を立案し、サービスを実施します。	収集方針、収集・提供方法、保管場所を検討する。(1/3)	・バリアフリーコーナー開設に向け、収集・提供方法を検討し、12月中に中間報告を行う。
2-(2)-サ-①	学習スペースの整備	学習スペースの確保、運用を検討します。		
2-(2)-シ-①	子どもの居場所としての取組	関係各課と連携し、学校と家庭以外で子どもたちが安心して居られる場所として、図書館が利用できるように環境を整えます。	先進図書館の調査を行う。	鳥取県立図書館の取組事例について、電話調査及び資料の取寄せを行う。 先進図書館の事例について、継続して調査する。
2-(2)-ス-①		今後も団体貸出を継続します。	継続実施	・団体貸出を継続実施する。
2-(2)-ス-②	学校図書館の支援	団体貸出等図書館資料の配送体制の整備について、調査研究を行い、実施を検討します。	学校図書館との団体貸出等図書館資料の配送体制整備について先行事例を研究する。(3/3)	・事例研究を継続し、12月までに報告を行う。
2-(2)-セ-①	学校図書館司書等合同研修会の開催	今後も実施を継続します。 学校図書館司書の要望等を踏まえ、内容を検討します。	継続実施	・学校図書館司書、司書教諭等を対象とした研修会を継続実施する。
2.利用者層ごとのサービス- (3) 青少年-				
2-(3)-ア-①	ヤングアダルトコーナーの新設	ヤングアダルト向けの資料と独立したスペースの確保、コーナーの設置を行います。	ヤングアダルトコーナーの設置に向け、ローリングに計上する。	・ヤングアダルトコーナーの設置に向け、ローリングに計上する。
2-(3)-イ-①	ヤングアダルト向け資料の収集	ヤングアダルトサービスについて調査研究を行い、資料の選定収集を行います。	継続実施	・ヤングアダルト向けの資料を継続して収集する。
2-(3)-ウ-①	学習スペースの整備	学習スペースの確保、運用を検討します。		

通番	検討する事項	取組内容	2023 (R5) 実施目標	2023 (R5) 達成基準
2-(3)-エ-①	ブックリスト配布	ヤングアダルト向けのブックリストを作成し、市内学校等への配布、ホームページでの公開を行います。	ブックリストについて、他館でどのような形式のものを配布しているか調査する。(1/2)	・他館の事例調査を行い、12月までに報告書をまとめる。
2-(3)-オ-①	イベント、講座	イベント、講座の実施を検討します。	継続実施	・ヤングアダルト向けの講座を開催する。
2-(3)-カ-①	学校との連携	市内中学校、義務教育学校、高校、大学、専門学校等との連携について調査研究を行います。		
2-(3)-キ-①	活動の場の提供 (メイカースペース)	事例の調査研究を行います。 必要な設備品の整備を検討します。		
2-(3)-ク-①	メディアリテラシー向上の支援	事例の調査研究を行います。	展示、講座を企画し、支援方法について検討する。	メディアリテラシー向上の支援に繋がる展示を行う。
2.利用者層ごとのサービス- (4) 成人--				
2-(4)-ア-①	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。 蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。視聴覚資料の積極的な収集に努めます。 展示等により、資料紹介を行います。	1. 図書館の基本的なサービスの再掲	
2-(4)-イ-①	貸出・レファレンス等のサービス提供	貸出・閲覧サービスを継続して実施します。 レファレンスサービスを継続して実施します。	1. 図書館の基本的なサービスの再掲	
2-(4)-ウ-①	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。	1. 図書館の基本的なサービスの再掲	
2-(4)-エ-①	データベース提供の拡充	公津の杜分館でのデータベースの提供を進めます。	1. 図書館の基本的なサービスの再掲	詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス (2) ビジネス支援 (3) 法情報に記載
2-(4)-オ-①	活動の場の提供 (メイカースペース)	事例の調査研究を行います。 必要な設備品の整備を検討します。		
2-(4)-カ-①	健康・医療情報サービス	詳細は第4章3. (1) 【健康・医療情報】に記載	詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス (1) 健康・医療情報に記載	
2-(4)-キ-①	ビジネス支援サービス	詳細は第4章3. (2) 【ビジネス支援】に記載	詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス (2) ビジネス支援に記載	
2-(4)-ク-①	法情報サービス	詳細は第4章3. (3) 【法情報】に記載	詳細は、3. 市民の課題を解決するサービス (3) 法情報に記載	
2.利用者層ごとのサービス- (5) 高齢者--				
2-(5)-ア-①	資料の収集、提供	大活字本、朗読CD等を継続して収集します。	継続実施	・大活字本、朗読CD等を継続して収集する。
2-(5)-ア-②		電子アプリ等を利用したオーディオブックの導入を検討します。	予算額や購入点数、契約手法等について検討する。(1/2)	・業者比較のための調査を継続し、予算額や購入点数、契約手法等について12月までにまとめる。

通番	検討する事項	取組内容	2023 (R5) 実施目標	2023 (R5) 達成基準
2-(5)-イ-①	高齢者施設等との連携	高齢者施設等へのニーズ調査を検討します。		
2-(5)-イ-②		連携方法について調査研究を行います。	前年までの調査結果を基に、先進例の追加調査・研究を行う。	・研究結果をまとめる。
2-(5)-ウ-①	来館困難者へのサービス提供	事例の調査研究を行います。	他館の先進事例の収集を行う。	・収集した事例をまとめる。
2-(5)-エ-①	生涯大学院、明治大学・成田社会人大学等との連携	ニーズ調査を実施します。	関連機関の動向を見ながら、調査項目を検討する。	・検討結果をまとめる。
2-(5)-エ-②		出張図書館等の連携事業を検討します。		
2-(5)-オ-①	高齢者の生きがいを支える情報提供、学習支援	事例の調査研究を行います。	高齢者向けのミニ展示を行う。	・認知症や定年後の生活等をテーマにしたミニ展示を3回実施する。
2-(5)-オ-②		講座の開催を検討します。		
2-(5)-カ-①	施設・設備のバリアフリー化	必要な設備を調査し、施設のバリアフリー化を図ります。		
2-(5)-キ-①	メディアリテラシー向上の支援	事例の調査研究を行います。		
2.利用者層ごとのサービス- (6) 図書館利用に障がいのある人--				
2-(6)-ア-①	録音図書の製作	今後も録音図書の製作を継続します。	継続実施	・新規録音図書15点を製作し、国立国会図書館にデータ提供する。
2-(6)-ア-②		所蔵するカセット資料のDAISY図書への変換作業を継続します。	継続実施	・カセット資料のDAISY図書への変換作業を20タイトル実施する。
2-(6)-イ-①	マルチメディアDAISYの収集、提供	収集方針、収集・提供方法を検討します。	予算要求	・2022 (R4) 年度に行った選定をもとに、マルチメディアDAISYの予算要求を行う。
2-(6)-ウ-①	音訳協力者の養成	今後も音訳協力者養成講座を継続して実施します。	継続実施 新規音訳協力者養成講座を検討する。	・音訳者養成講座を6回実施する。 ・新規音訳協力者養成講座実施の必要性を検討し報告書を作成する。
2-(6)-エ-①	資料の収集、提供	点字図書、さわる絵本、大活字本、オーディオブック、LLブック、布絵本等を収集、提供します。	点字図書、大活字本、LLブックの収集方針を立案する。オーディオブックコンテンツの再調査をする。各高齢者担当と協議し方針を定める。	・資料の収集を継続する。 ・昨年度に引き続き、高齢者担当、児童担当と協議し、点字図書等の収集方針を調査し、報告書をまとめる。
2-(6)-オ-①	配送貸出サービス	今後も継続して実施します。	継続実施 心身障害者用郵便について調査を行い、導入を検討する。(3/3)	・配送貸出サービスを継続実施する。 ・2022 (R4) 年度に作成した心身障がい者用ゆうメールの要綱案(第1案)について検討を行い、利用案内の作成等、サービス開始に向けた準備を行う。
2-(6)-カ-①	サインのバリアフリー化	事例やガイドライン等の調査研究を行います。	事例調査及び研究を行う。	・2022 (R4) 年度に続き、サインのバリアフリー化についてガイドライン等の調査を行い、報告書を作成する。
2-(6)-カ-②		サイン計画を立て、館内サインを作成します。		

通番	検討する事項	取組内容	2023 (R5) 実施目標	2023 (R5) 達成基準
2-(6)-キ-①	サービスの広報	今後も対象者への利用案内の送付等を継続します。	継続実施	既存の利用者に1回、転入者に1回、対象者への利用案内や目録の送付を継続実施する。
2-(6)-ク-①	対面朗読	事例の調査研究を行います。		
2-(6)-ケ-①	施設・設備のバリアフリー化	必要な設備を調査し、施設のバリアフリー化を図ります。	事例調査及び研究を行う。	・他館の施設・設備のバリアフリー化の事例調査を行い、報告書を作成する。
2-(6)-コ-①	合理的配慮の提供の推進	講座・イベント時の手話通訳等の配置を検討します。		
2-(6)-コ-②		館内のサイン・案内等の改善を図ります。	館内のサインの改善案を作成する。	・館内のサインの実態調査を行い、他館調査の結果も踏まえた改善案の作成を行う。
2-(6)-コ-③		コミュニケーション手段を確保します。	ツールの調査を行う。	障がい者用のコミュニケーションツールについての調査を行い、報告書を作成する。
2.利用者層ごとのサービス- (7) 多文化--				
2-(7)-ア-①	多言語資料の収集	今後も収集を継続します。	・継続実施 ・丸善ベストセラー等、現在の購入先以外の収集手段について調査し、購入する。	・英語以外の資料を30冊以上収集する。 ・購入先について検討し、報告書を作成する。
2-(7)-ア-②		ニーズに沿った選定の方法を検討します。	利用状況について継続調査し、多言語資料のMARCについて研究する。	・多言語資料MARCについて調査し、MARCの自館作成または受入方法について、12月までに報告書をまとめる。
2-(7)-ア-③		電子書籍での多言語資料の提供について、検討します。	継続実施	・電子書籍の多言語資料を継続して収集する。
2-(7)-イ-①	多文化理解に役立つ資料の収集、提供	今後も収集を継続します。	継続実施	・日本に関する多言語資料を30冊以上収集する。
2-(7)-ウ-①	日本語学習、検定資料の収集、提供	今後も収集を継続します。	継続実施	・日本語学習のための多言語資料を25冊以上収集する。
2-(7)-ウ-②		選定方法を見直し、購入手法を検討します。	日本語学習、検定資料の選定・受入方法の見直しを行う。(3/3)	・日本語学習、検定資料について、選定方法や購入手法を見直し、今後、どのように収集してゆくか報告書を作成する。
2-(7)-エ-①	利用しやすい環境の整備	英語以外の言語の利用案内を作成し、配布します。	英語以外の言語の利用案内を作成する。	・中国語の利用案内案を作成する。
2-(7)-エ-②		やさしい日本語の利用案内の作成を検討します。	利用案内案を作成する。	・やさしい日本語の利用案内の案を検討する。
2-(7)-エ-③		館内の案内を見直します。		
2-(7)-オ-①	関係機関との連携	関係機関を案内する体制と資料を揃えます。		
2-(7)-カ-①	学校との連携	日本語を母語としない子どもと、周囲の大人を支援するための資料収集を行います。 多言語資料の提供について検討します。		

通番	検討する事項	取組内容	2023 (R5) 実施目標	2023 (R5) 達成基準
3. 市民の課題を解決するサービス- (1) 健康・医療情報--				
3-(1)-ア-①	蔵書の構築	医療の進歩に留意し、信頼性の高い資料を収集します。	収集方針の改訂あるいは、選書方法の見直しを行う。(2/2)	・収集方針案を資料部に提案し、年度内に確定する。 ・選書方法の検討を行い、新刊全点案内に抛らない選定方法案を作成し、試行する(結果を12月までに報告する。)
3-(1)-イ-①	利用者がアクセスしやすい書架の整備	サービスガイドラインを策定し、コーナーの設置を検討します。		
3-(1)-イ-②		関係機関等の情報をコーナーに排架し、提供します。	利用者が探しやすいコーナーとなるよう調整する。	・面見せや書架整理方法のマニュアルを12月までに整備し、試行する。
3-(1)-イ-③		信頼性の高い資料を、入門から専門的な情報へと深めるように排架し、情報を求めている層に最適化した書架構成を検討します。	コーナーを維持し、計画的に更新できる仕組みを整備する。	・資料更新のマニュアルを12月までに整備し、試行する。
3-(1)-イ-④		闘病記の排架方法や検索システム等、整備方針を定めて計画的に実施します。	事例調査や視察を通して研究する。(3/3)	・1館以上視察を実施し、年度内にまとめを作成する。
3-(1)-ウ-①	講座、セミナーの開催	関係機関と連携し、健康・医療情報を扱う講座等を計画し、実施します。	継続実施	・健康・医療情報の講座を開催する。
3-(1)-エ-①	出張図書館の実施	市内病院や医療系大学等と連携し、関係機関が開催する市民向けの講座への出張図書館を検討します。		
3. 市民の課題を解決するサービス- (2) ビジネス支援--				
3-(2)-ア-①	蔵書の構築	ビジネスに役立つ多様な分野の資料を入門書から専門書まで広く収集します。	蔵書の研究、調査を行う。	・2024 (R6) 年度以降のビジネス支援コーナー開設に向けて、コーナー設置本(120冊程度を予定)やパンフレット資料等の選定を行い、資料部会で結果の報告を行う。
3-(2)-イ-①	データベースの整備	起業や農業活動等に有用なデータベースの導入を検討します。	導入データベースの決定をし、予算要求を行う。	・2023 (R4) 年度に実施したマーケティング関係データベース2つのトライアル結果をまとめ、どちらか1つを選定して予算に計上する。
3-(2)-ウ-①	利用促進	事例調査及び研究を行います。	研究報告会を行う。	・ビジネスライブラリアン講習会参加者による研究報告会を実施する。
3-(2)-ウ-②		ビジネス支援のための図書館活用法パンフレット作成を計画し、実施します。		
3-(2)-エ-①	利用者がアクセスしやすい書架の整備	それぞれの専門的分野の資料を集中して排架する方法を計画し、実施します。	コーナーの設置や排架方法など、事例調査及び研究を行う。(3/3)	・ビジネス支援コーナー開設に向けた具体的な資料の排架方法、広報の方法等を検討し、12月までに報告書をまとめる。 ・起業に関する資料を探す際に役立つパスファインダーの案を作成する。
3-(2)-オ-①	講座、セミナーの開催	働く世代を支援する講座等を計画し、実施します。		
3-(2)-カ-①	相談会の実施(会場・資料提供)	事例調査及び研究を行います。		
3-(2)-カ-②		中小企業診断士等と協働し、起業相談会の開催を検討します。	先進図書館の事例調査をしつつ、講師とのコネクションや関係を構築する。(3/4)	・2024 (R6) 年度以降のビジネス支援コーナー開設後に起業セミナー(相談会)を開催できるように、セミナー(相談会)実施案を12月までに作成する。

通番	検討する事項	取組内容	2023 (R5) 実施目標	2023 (R5) 達成基準
3-(2)-キ-①	出張図書館の実施	商工団体のイベントや成田市産業まつり等に出張図書館を行い、ビジネス支援を広報するとともに、司書のレファレンスを含めたサービスの利用促進を図ります。		
3. 市民の課題を解決するサービス- (3) 法情報--				
3-(3)-ア-①	蔵書の構築	法情報に関する図書・雑誌資料のほか関係機関誌やパンフレット等、幅広い資料の収集に努めます。	資料の収集対象や選書方法についてリーフレットなどの配置も含めて検討し、資料の見直しを行い、報告書をまとめる。(3/3)	・12月までに法情報に関する基本図書の選定を行う。
3-(3)-イ-①	データベースの整備	法情報調査に有用なデータベースを調査し、導入を検討します。	事例調査を行い、有用なデータベースを調査する。バージョンアップまたは新規導入するデータベースを検討し、報告書をまとめる。(3/3)	・特許情報データベースj-platpatを、本館データベースコーナーにおいて利用できるように、利用案内等を整備する。
3-(3)-ウ-①	利用者がアクセスしやすい書架の整備	事例調査及び研究を行い、法情報コーナーの新設を検討します。		
3-(3)-ウ-②		パスファインダーを作成し、配布します。	パスファインダーの事例を調査し、実施計画を立てる。	・他館のパスファインダーの調査を行い、12月までに報告書としてまとめる。
3-(3)-エ-①		ニーズ調査を実施します。		
3-(3)-エ-②	講座、セミナーの開催	データベースの使い方講座や、関連専門機関のセミナー等の図書館での開催を検討します。		
3-(3)-オ-①	関係機関へ、図書館の資料案内等の配布	市民向け相談窓口を設置している機関へニーズ調査を実施します。		
3-(3)-オ-②		出張図書館や相談員と協働した推薦図書リストの作成等、法情報や判例資料の活用・提供について検討します。		
4. 地域資料を活用するサービス- (1) 地域資料--				
4-(1)-ア-①	地域資料の収集、提供	今後も、成田市を中心に、関連性の深い周辺地域を含めた歴史、地誌、民俗、芸術、文化及び産業等を記録した資料の収集を継続します。	継続実施	・継続して資料収集を行う。
4-(1)-ア-②		今後も、空港関係資料の収集を継続します。	継続実施	・電子化されている資料を含め、航空関係資料を継続して収集する。
4-(1)-ア-③		行政資料の収集を継続します。	継続実施	・行政資料を継続して収集する。
4-(1)-イ-①	地域資料のデジタル化	成田市関係新聞記事をデータベース化し、公開します。	継続実施	・成田市関係新聞記事のデータベース化を継続し、公開する。 ・市史研究47号に掲載されたデータを入力し公開する。
4-(1)-イ-②		地域資料のデジタル化を進めます。	『成田の地名と歴史』のデータ化を行う。	・『成田の地名と歴史』について業者へデータ化を委託し、公開できるデータに編集するための作業を行う。

通番	検討する事項	取組内容	2023 (R5) 実施目標	2023 (R5) 達成基準
4-(1)-イ-③	地域資料のデジタル化	デジタル化した資料は、ホームページ上で公開を継続し、内容の充実を図ります。	デジタル化資料公開に向けた計画表を作成する。	・デジタル化資料公開に向けて課題を整理し、対処法を検討する。
4-(1)-ウ-①	イベント、講座の開催	地域への理解、関心を深めることを目的とし、講座の実施を継続します。	継続実施	・地域に関連した講座を実施する。
4-(1)-エ-①	展示の実施	収集した資料の活用、普及、提供のため、展示の実施を継続します。	継続実施	・展示を継続実施する。
4-(1)-オ-①	関係機関との連携	各方面に働きかけを行い、どのような連携を図ることができるか検討します。		
4-(1)-カ-①	市史の編さん、頒布	今後も成田市史研究の発行を継続します。 今後の方向性を検討します。	市史編さん事業の今後の在り方を検討する。(2/3)	・成田市史研究48号を発行する。 ・他市町村の市史編さん事業の状況について、調査をする。
5.地方自治を支えるサービス- (1) 行政支援--				
5-(1)-ア-①	市職員への利用案内	新規採用職員研修において、行政課題解決のための図書館活用法を案内します。	継続実施	・新規採用職員研修を継続実施する。
5-(1)-ア-②		業務に役立つ資料の紹介、研修に関連する資料の展示等を計画し、実施します。	行政職員向けに業務に役立つ資料・データベース紹介などの実施について調査研究を行う。	・他自治体の事例を調査し、12月までに報告書をまとめる。
5-(1)-イ-①	行政向けレファレンスサービス	事例調査及び研究を行います。	行政向けレファレンスサービスの、周知方法について検討する。	・過去に実施した周知方法を整理し、他自治体の事例を調査し、12月までに報告書をまとめる。
5-(1)-イ-②		有料データベース等ツールの広報やレファレンス事例の紹介を通じて利用の促進を図ります。	継続実施	・令和5年度の研修内容に有料データベース等のツールやレファレンス事例について盛り込む。 ・令和6年度の研修計画書にも継続して盛り込む。
5-(1)-ウ-①	行政支援としての図書館資料の貸出	市職員への図書館資料の貸出システムについて検討します。	物流の手段を、担当課と協議する。	・図書館システムの仕様書を作成する際に担当課と協議する。
5.地方自治を支えるサービス- (2) 学校図書館支援--				
5-(2)-ア-①	学校図書館の支援	今後も団体貸出を継続します。	2. 利用者層ごとのサービス (2) 小学生・中学生の再掲	
5-(2)-ア-②		団体貸出等図書館資料の配送体制の整備について、調査研究を行い、実施を検討します。	2. 利用者層ごとのサービス (2) 小学生・中学生の再掲	
5-(2)-イ-①	学校図書館司書等合同研修会の開催	今後も実施を継続します。 学校図書館司書の要望等を踏まえ、内容を検討します。	2. 利用者層ごとのサービス (2) 小学生・中学生の再掲	
5-(2)-ウ-①	学校との連携	日本語を母語としない子どもと、周囲の大人を支援するための資料収集を行います。	2. 利用者層ごとのサービス (7) 多文化の再掲	
5-(2)-ウ-②		多言語資料の提供について検討します。	2. 利用者層ごとのサービス (7) 多文化の再掲	

通番	検討する事項	取組内容	2023 (R5) 実施目標	2023 (R5) 達成基準
5.地方自治を支えるサービス- (3) 議会図書室との連携--				
5-(3)-ア-①	議員へのレファレンスサービスの実施	レファレンスサービスを周知し、議員のレファレンスサービスの活用を促進します。	新議員の改選に伴う利用案内を実施する。	・担当課と連携し、案内日時を決定し実施する。
5-(3)-ア-②		議会図書室と連携し、議員への図書館資料の貸出について検討します。	物流の手順を担当課と協議する。	・担当課と協議を行う。
5-(3)-イ-①	資料の整理・保存等の支援	議会図書室が所蔵する資料の整理を支援します。	担当課と協議して議会図書室整理について方向性を検討する。(3/3)	・議会図書室資料整理スケジュールの支援を行い、議会事務局と計画表を作成させる。 ・過去の議事録のデジタル化について、その方法や予算化について協議を行い、スケジュールを策定する。
5-(3)-イ-②		議会図書室と連携し、成田市議会の過去の議事録等の保存等を支援します。	デジタル化について担当課と今後のスケジュールについて協議を継続する。(3/3)	・過去の議事録のデジタル化について、その方法や予算化について協議を行う。
5.地方自治を支えるサービス- (4) 行政資料室との連携--				
5-(4)-ア-①	連携方法についての研究	事例の調査研究を行います。	事例の調査研究を行う。 担当課と今後の方針や課題について協議する。	・調査対象や調査項目を決定し、事例研究を行う。 ・担当課と行政資料室の廃棄資料リストを確認し、歴史的資料などを収集する。
5-(4)-イ-①	行政資料室での行政支援としての図書館資料の貸出	市職員への図書館資料の貸出システムについて検討します。	5. 地方自治を支えるサービス (1) 行政支援の再掲	
6.図書館サービスを支える電算システム---				
6--ア-①	図書館電算システム、ホームページの維持管理・運用	システムの機能向上について検討します。	【図書館システム】 予算要求	・更新計画に基づいて仕様書を作成し、予算要求を行う。
6--ア-②		ホームページの利便性向上を図り、マルチデバイス化を実施します。	【ホームページ】 ホームページ管理システムの更新スケジュールを見直す。 予算要求	・ホームページ管理システムのスケジュールを調整する、保守費の予算要求を行う。
6--イ-①	新たな技術の導入	電子書籍サービスを導入します。	収集方針の改定	・収集方針を12月までに改定する。
6--イ-②		本館、公津の杜分館への公衆無線LANを設置します。	予算要求	・更新計画に基づいて仕様書を作成し、予算要求を行う。
6--ウ-①	業務の効率化	機器の導入等により、業務の効率化を図ります。	予算要求	・更新計画に基づいて仕様書を作成し、予算要求を行う。
6--ウ-②		本館への自動返却仕分け機の導入を検討します。	予算要求	・更新計画に基づいて仕様書を作成し、予算要求を行う。
7.職員の育成---				
7--ア-①	継続的な司書の確保と計画的な措置	継続的に司書の確保に努めます。	継続実施	・司書の人員確保を計画的に人事課に要求する。
7--ア-②		司書の研修マニュアルを作成します。	司書の研修マニュアルを作成する(1/3)。	・既存のマニュアルを整理し、必要な項目の一覧をまとめる。
7--ア-③		専門分野の習熟に必要な配置期間を確保します。	継続実施	・配置期間について、見直しを行う。

通番	検討する事項	取組内容	2023 (R5) 実施目標	2023 (R5) 達成基準
7--イ-①	職員の資質・能力の向上	長期的な計画を立てて、計画的な職員育成をはかります。	継続実施	・担当となった分野の研修に参加する。
8.施設・設備等---				
8--ア-①	施設の管理・運営	施設の計画的な修繕等の維持管理と、バリアフリーへの対応等、利用しやすい施設への改善に努めます。	予算計上している修繕、工事を計画的に実施する。発生した施設の修繕を予算内で計画的に執行する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算計上している修繕、工事を計画的に実施する。</li> <li>・発生した施設の修繕を予算内で計画的に執行する。</li> <li>・利用者の利便性を高める取り組みについて検討する。</li> </ul>
8--ア-②		施設の管理・運営に関わるマニュアルを作成します。		
8--イ-①	居場所としての機能向上	滞在できる空間づくりを検討します。		
8--イ-②		グループ学習や図書館資料を利用したミーティングができる環境づくりを検討します。		
8--ウ-①	本館の閲覧席増加	閲覧席の増加について検討します。		
8--エ-①	本館の所蔵可能点数増加	公開書架。書庫等の所蔵可能点数増加について検討します。		
8--オ-①	危機管理能力の向上	図書館の危機管理マニュアルを作成し、体制を整備します。		
8--カ-①	全域サービス網整備	全域サービス網の整備を計画的に進めます。		